

皆様

平成 25 年 12 月 9 日

今日は、午前中はレイテ湾の南西部を中心に調査を行い、午後は現地災害対策本部の事務局である Office of Civil Defense (OCD) と公共事業道路省 (DPWH) において、聞き取りと資料収集を行いました。

1) Abuyog

台風来襲時に市役所で災害対応に当たっていた、市の災害担当官の Cabias 氏によれば、市役所（海岸から約百数十メートルの地点）で、海からの水が膝下程度まであったとのことだったので、この証言をもとに、高潮高の計測を行った。

2.56m（証言） N10°44.814' E125°00.802' 潮位補正後

2) Pobalacion District No.1, Mucathur Municipality

メイン道路沿いの市街地では、高潮の目撃証言は無かったため、海岸の状況のみ確認した。海岸は、砂浜の背後の地盤高が 1.4m 程度であった。海岸沿いにある企業の守衛詰所（海岸から約 60m）まで波が来たとの証言を得たが、高潮によるものか風波によるものかの判別がつかなかったため、高潮高の計測はおこなわなかった。

3) Bgy. Luan, Dulag

高潮により大きな被害を受けたと見られる集落（メイン道路沿い）において聞き取りを行ったところ、地区の住民は高潮襲来時には地区の学校に避難しており、襲来時の実際の状況を知ることができなかったが、住民が避難した学校にも海水が押し寄せたとの証言を得たため、その証言をもとに、高潮高の計測を行った。

2.84m（証言） N10°58.586' E125°02.150' 潮位補正後

4) Telegrafo, Tolosa

メイン道路沿いの市街部では高潮によると思われる被害が比較的少ないように見受けられたため、海岸の状況確認を行った。海岸部では、海岸にある建物に高潮によると思われる被害が有り、高潮襲来時に建物に居た住民に聞き取りを行ったところ、高潮が確認された。

4.30m（証言＋建物被害） N11°02.249' E125°02.261' 潮位補正後

5) OCD Region 8 地方事務所に対する聞き取り調査

OCD の地方事務所に対する聞き取り調査では、台風に関する準備状況、情報の伝達状況を確認した。OCD は、台風の発生直後から対応の準備を始め、11 月 7 日には国防大臣と内務自治大臣が現地入りし、対応状況を直接指示・確認するなど国レベルで台風に備えていたことが確認できた。また、OCD 地方事務所は、中央からの情報を各市町村へ伝達するとともに、海岸沿いで高潮の危険がある地域（フィリピン気象局は、11 月 7 日の昼以前に最大で 7m の高潮が発生すると予報を出していた）については、地方自治体と協力し事前に住民を避難させることも行っていて、高潮に対する準備もそれなりに行っていたことが確認できた。

6) DPWH Region 8 地方事務所における情報収集

DPWH Region 8 地方事務所では、初日に依頼したアンケート調査の回収と簡単な内容の確認を行った。また、台風来襲時の映像等の寄贈を受けた。

調査隊は、上記の活動をもってレイテ島における全ての調査を終え、陸路でオルモックに移動し、船に乗り換えてセブに戻りました。

松丸 亮（調査隊長代行）